

横浜隼人中学校【最新情報・変更点】

令和7年6月24日 版

■入試改革！

2026年度、新たな入試を2種類導入します！

AI（人工知能）が急速に発達していくこれからの時代に必要とされるのは創造（想像）力やコミュニケーション能力です。横浜隼人では、そういった能力の高い生徒に入学していただき、その才能をさらに伸ばしていきたい、そして周囲の生徒にも良い影響を与えるような存在になってほしいと考えています！

そこで、従来の「国語」「算数」の2科目型と「適性検査Ⅰ」「適性検査Ⅱ」の公立中高一貫型に加え、新たに次のような入試の導入を検討しています！

★創作文・ディスカッション型（仮称）

…絵を見て物語を作る「創作文」と、与えられたテーマに対して受験生同士で「グループディスカッション」を行い、創造（想像）力とコミュニケーション能力が問われる入試。

※詳細は現在検討中です。9月以降に公開する「生徒募集要項」にて詳細をご確認ください。

★4科目入試

…一般入試が従来の「国語」「算数」の2科目入試に加えて、2月2日（月）午前に入試において「国語」「算数」「理科」「社会」の4科目入試も選べるようになります！

小学校時代の基礎学力がバランスよく身につけていることが求められる入試。

「国語」「算数」は、これまでの出題傾向と同じで、小学校で習う範囲内での出題です。

「理科」「社会」は一部、小学校では習わない中学受験用問題の出題も検討しています。

★公立中高一貫（一昨年から傾向を変更）

…2019年度入試から継続している横浜隼人の「公立中高一貫」入試ですが、一昨年より出題傾向を「市立」「県立」にかなり寄せた問題にしています。

また日程を2月1日の午前に変更し、入試問題の持ち帰りを可能にしました。

合否は当日 Web 発表としていますので、2月3日の公立中高一貫校の入試本番の前に、ぜひ横浜隼人を受験してみてください！

👉合格基準を非公表に！

…2024年度入試までは全ての入試で合格基準を55%、特待生の基準を2種が70%、1種が80%としていましたが、2024年度入試までの3年間で受験者数、入学者数が約1.8倍と増加したことを受け、2025年度入試からは合格基準を非公表とし、実際に基準を上げました。しかし入学者数は前年度とほぼ同数となりました。

受験倍率は第1回一般（算・国）では、これまで1.2倍程度だった倍率が1.7倍へと上がりました。すべての入試で倍率を出しても1.2倍程度だったものが1.4倍へと上がっています。

2026年度入試でも、優秀な受験生の皆さんをお待ちしています！

※「算数」「国語」の2科目入試は従来通り実施します。

※2025年度まで実施してきた「自己アピール入試」は廃止となります。

■「スクラム担任制」導入！

横浜隼人中学校では 2025 年度から「スクラム担任制」を導入しました！

「スクラム (Scrum)」は、ラグビーのようにチームで協力して支え合うことです。

「学年担任団」がクラスをまたいで全体を指導する新しいしくみです！

【メリット】

★年齢や性別、個性の異なる担任団が連携し合うことで、それぞれの強みを活かせる！

★クラスごとの指導の偏りを無くし、学年で平等な教育が実現できる！

★生徒一人ひとりの状況を担任団で共有しやすくすることで、生徒の小さな変化にも気づきやすくなり、迅速かつ確かな対応が可能になる！

★家庭との連携もスムーズになり、保護者の皆様からの相談にも柔軟に応じることができる！

★生徒は自分が話しやすい先生を選んで気軽に何でも相談できる！

※教職員がスクラムを組むことで、生徒一人ひとりに目を配り、寄り添い、共に歩んでいく、そんな温かい教育環境の実現を目指しています！

■「探究学習」本格導入！

2022 年度から高等学校で必修化された「探究学習」を、2025 年度から中学生にも本格的に導入します！

中学生のうちに興味や関心のある分野について探究することで、高校に進んだ際に同じ分野についてより深く学ぶことができたり、中学校時代の経験を活かして全く違う分野の探究に取り組んだりすることができます！

探究学習には「プレゼンテーション」が伴います。中学生のうちからプレゼンテーション能力を磨くことで、これからの時代に必須とされるスキルや思考力が身に付きます！

目先のことでなくもっと先の未来について見つめる力も身につくため、早い段階で自分の将来について真剣に考えることにも繋がります！

6年間の探究学習という大きな経験値は大学の「総合型選抜入試」や今後の長い人生にも活かすことができます！

■生徒端末をタブレット型 PC に変更

今年度の中学 1 年生、高校 1 年生より授業で使用する端末を、タブレット端末からタブレット型 PC へと変更しました。従来の端末の携帯性は変わらず、現代で必要とされる高度な資料作成やデータ分析、プログラミングなど、より専門的なスキルを身につけることを目的として変更しました。分析力・創造力・コミュニケーション力・自己管理能力など、多岐にわたる能力を実践的に活用できる人材を育成できる環境を整えています。

2025 横浜隼人中学・高等学校「進学実績」

	国公立	早慶上理	GMARCH	日東駒専	四大合計
全体	50 名	45 名	148 名	135 名	1030 名
うち内進生	5 名	7 名	12 名	12 名	102 名

※卒業生数…643 名（うち内進生…66 名）

★内進生… 京大1名！ 慶應1名！ 上智1名！ 東京理科5名！

2025 横浜隼人中学校「イベント案内」

■ミニ説明会

・5月31日（土）・6月7日（土）・6月21日（土）・7月5日（土）・9月6日（土）・10月4日（土）

学校説明と施設見学・授業見学、さらに休み時間には在校生との対談をして頂きます！

1回の定員は25組まで、イベントの2週間前から学校ホームページで予約開始となります！

■地域公開教室

・8月2日（土）・8月23日（土）・8月24日（日）

今年もスポーツや文化体験、ものづくりやゲームなど、様々な講座を用意します！

中高生や教職員と一緒に楽しく遊びましょう（＾＾） /

今年は午前と午後の2部制で開催します！お昼は校内の食堂やコンビニを利用いただければ、一日に2つの講座が受けられます！きっと夏休みの素敵な思い出の一つになりますよ☆

詳細はホームページでの公開までお待ちください！（事前予約制）

しゅんきさい

■隼輝祭（文化祭）

・9月27日（土）・9月28日（日）

横浜隼人中学・高等学校が1年のうちで最も盛り上がるのが「隼輝祭」です！

クラスや部活動ごとの制作発表や企画発表、ゲームや食品販売と催し物が盛りだくさん☆

2年前からスマホ決済を導入し、会計もスムーズになりました！

隼輝祭は予約不要ですので、ぜひ家族や友達と一緒に遊びに来てください♪

■入試説明会

・11月1日（土）・12月6日（土）・1月10日（土）

入試に向けた出題傾向や対策について詳しく解説します！

詳細はホームページでの公開までお待ちください！（事前予約制）



<https://www.hayato.ed.jp/>

横浜隼人高等学校【最新情報・変更点】

令和 7 年 6 月 2 4 日 版

令和 8 年度入学者から変更する点

◆普通科のコース編成変更

国公立大学をめざす「特別選抜コース」と、難関私立大学をめざす「特進コース」を一つにまとめ「アドバンスコース」という名称に変更します。高校入学の時点では国公立大学か私立大学かを絞ることなく、**学年が上がるごとに文理分けや、国公立大学か私立大学かを選択**していきます。（予定）

総合型選抜入試を視野に入れながら、四年制大学を中心とした幅広い進路実現をめざす普通科の「進学コース」は「**プログレスコース**」に名称を変更します。

令和 7 年度から変更している点

◆探究学習の強化

【1 年生】「土台づくり」

「必要で信頼される人となる」という校訓を軸に、**リーダーシップとクリティカルシンキング**を学び、**横浜隼人独自の探究サイクル**（詳細は学校案内をご覧ください）を理解し、探究学習を進めて行く土台づくりを行います。

【2 年生】「LABO 開設」

分野ごとの **LABO** に分かれ、自ら設定したテーマに沿ってフィールドワークや独自の調査・分析を行い、年度末に成果発表を行います。令和 7 年度は **36 の LABO を開設**しています。

【3 年生】「仕上げ」

3 年間の探究サイクルの集大成として、自身が進めてきた探究学習に関する **最終プレゼン**、**卒業研究レポート**を作成し、「**総合型選抜**」などの年内入試にも繋げていきます。

◆自由選択科目・目的別講座

特進コース・特別選抜コース（令和 8 年度からのアドバンスコース）を除いて **3 年次には平日の午後（※1）が選択授業**になります。

※1…進学コース（令和 8 年度からのプログレスコース）が火～金曜日、国際語科が水～金曜日

【自由選択科目】

生徒一人ひとりが受けたい授業を選択し、受験に向けて必要な力を伸ばします。英語・国語・数学・理科・社会・芸術で特別授業を開いています。

【目的別講座】

外部講師をお招きし、「IELTS 対策講座」「大学の知への招待～リベラルアーツの学び」「データサイエンス講座」「金融教育」といった **様々な分野を自分で選び学ぶ**ことができます。

◆高大連携の強化

令和7年度は、難関大学をはじめ首都圏の**約 20 の大学と提携**し、**訪問授業**や大学教授による**特別講義**等の機会を多く設けています。

◆国際語科ネイティブ担任

令和7年度入学者より**国際語科は1年生全クラスで特別免許状を取得しているネイティブ教諭が担任**になりました。

◆海外研修プログラムの選択肢拡大

従来の**カナダへの3ヵ月留学・10ヵ月留学**に加えて、**セブ島1ヵ月、マレーシアの大学見学プログラム**など、希望制の海外研修プログラムの選択肢を拡大しています。

◆デュアル・ディプロマ・プログラム（DDP）の導入

横浜隼人に通いながらオンラインで海外の高校の卒業資格も取得できる DDP を令和7年度から導入し、実際に高校1年生3名がこのプログラムをスタートさせています。

◆生徒端末をタブレット型 PC に変更

今年度の中学1年生、高校1年生より授業で使用する端末を、タブレット端末から**タブレット型 PC へと変更**しました。従来の端末の携帯性は変わらず、現代で必要とされる高度な資料作成やデータ分析、プログラミングなど、**より専門的なスキルを身につけることを目的**として変更しました。分析力・創造力・コミュニケーション力・自己管理能力など、多岐にわたる能力を実践的に活用できる人材を育成できる環境を整えています。

令和7年度 大学合格実績

	国公立	早慶上理	GMARCH	日東駒専	四大合計
全体	50 名	45 名	148 名	135 名	1030 名

卒業生 643 名